

登録コード	E5008900	開講年度	2026				
授業科目	情報機器活用論					担当教員	佐藤 和紀
英文授業名	ICT Use in Classroom					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・5時限	対象学生	
講義室	教育学びセンター103			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					我が国の今日的な課題, 文部科学省による政策, 学校現場の授業実践を踏まえ, デジタル学習基盤を活用した授業の考え方や方向性について議論できたり説明できたりできる。	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					我が国の今日的な課題, 文部科学省による政策, 学校現場の授業実践を踏まえ, なぜ学校現場でデジタル学習基盤が必要なのかについて議論できたり説明できたりできる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	我が国の今日的な課題, 文部科学省による政策を踏まえ, デジタル学習基盤, 児童生徒の情報活用能力の育成, 生成AIの利活用について議論していく。						
(5)授業計画	第1回 ガイダンス(授業の進め方), 次期学習指導要領における議論からデジタル学習基盤と情報活用能力の重要性について知る 第1部「情報活用能力の育成」 第2回 情報活用能力とは何か知る(オンデマンド) 第3回 情報活用能力を育成するための取り組みを調べる 第4回 学校現場での実際の授業実践を知る 第5回 情報活用能力を育成するための取り組みを考える 第2部「デジタル学習基盤と個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」 第6回 デジタル学習基盤と個別最適な学びと協働的な学びの取り組みを知る(オンデマンド) 第7回 デジタル学習基盤と個別最適な学びと協働的な学びの取り組みを調べる 第8回 学校現場での実際の授業実践を知る 第9回 デジタル学習基盤と個別最適な学びと協働的な学びの取り組みを考える 第3部「生成AIと学校教育」 第10回 学校教育と生成AIの関わりを理解する(オンデマンド) 第11回 生成AIの利活用を調べる, 体験する 第12回 学校現場での実際の利活用を知る 第13回 学校教育における生成AIの利活用を考える 第14回 授業のまとめ, これからの学校教育とデジタル学習基盤の関わりや, これからの教師に求められる資質・能力について議論する						
(6)成績評価の方法	・各回の授業に関する課題(50%), 最終試験(50%) ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	「卓越している」: デジタル学習基盤を活用した授業を実現したり, 児童生徒の情報活用能力を育成するための理解が, 本授業での学習内容を多面的・総合的に取り入れたりしていて, さらに独自に調査した内容を極めて効果的に加えていて卓越している。 「かなり上である」: デジタル学習基盤を活用した授業を実現したり, 児童生徒の情報活用能力を育成するための理解が, 本授業での学習内容を多面的に取り入れたりしていて, さらに独自に調査した内容を効果的に加えていてかなり上である。 「やや上にある」: デジタル学習基盤を活用した授業を実現したり, 児童生徒の情報活用能力を育成するための理解が, 本授業での学習内容を取り入れたりしていて, さらに独自に調査した内容を加えていてやや上にある。 「水準にある」: デジタル学習基盤を活用した授業を実現したり, 児童生徒の情報活用能力を育成するための理解が, 本授業での学習内容を取り入れたりしている水準にある。						
(8)事前事後学習の内容	・学習の交流のために, Google Chatを活用して授業を展開していく。 ・事前学習: Google Chatに掲載してある関連URLからWebサイト等を確認し, 問題意識を明確にしたうえで授業に参画する。 ・事後学習: 各回の授業リフレクションをGoogle Chatに記入し, 学生間で共有する。						
(9)履修上の注意	・3年生以上の履修者は「情報通信機器を活用した教育の理論および方法」を履修済みであること。 ・各回の授業の前後にGoogle Chat にアクセスして事前事後学習に努めること。 ・各回の授業後にGoogle Chatで意見交換をすること。						

(9)履修上の注意	・長野県内高校生科目等履修生（先取り履修生）は、対面またはリアルタイムでのオンライン参加とする。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	・附属次世代型学び研究開発センター2F 佐藤研究室 E-mail：sato_kazunori@shinshu-u.ac.jp ・オフィスアワー：（前期）メール予約で随時対応 （後期）メール予約で随時対応
【教科書】	特になし
【参考文献】	以下のWEBサイトの情報を中心に進めていく。また随時，関連資料を共有していく。 文部科学省：次期学習指導要領にむけた論点整理 https://www.mext.go.jp/content/20251225-mxt_kyoiku01-000045057_01.pdf 文部科学省：中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す，個別最適な学びと，協働的な学びの実現～（答申）（中教審第228号）【令和3年4月22日更新】 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/sonota/1412985_00002.htm 文部科学省：初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン https://www.mext.go.jp/content/20241226-mxt_shuukyo02-000030823_001.pdf